

第9講	近世ヨーロッパ	学習日	月	日	名前：
-----	---------	-----	---	---	-----

1. ルネサンス（14～16世紀）

【概要】

14世紀にイタリアで始まり、ヨーロッパ全体に広まった文化運動

基本精神は（1）＝人文主義

【文芸】

「人間の世界」を「人間の言葉」で記す。現実政治への批判。

（2）（伊）… 『神曲』、トスカナ語で著す

（3）（伊）… 『デカメロン』、十日物語

（4）（英）… 四大悲劇『ハムレット』『オセロ』『マクベス』『リア王』

（5）（西）… 『ドン＝キホーテ』

【絵画・建築・彫刻】

「人間の世界」「ありのままの人間の美」を表現。

（6）（伊）… フィレンツェのサンタ＝マリア大聖堂を設計

（7）（伊）… ローマのサン＝ピエトロ大聖堂を最初に設計

（8）（伊）… 『ヴィーナスの誕生』『春』

（9）（伊）… 『ダヴィデ像』『最後の審判』

（10）（伊）… 『最後の晩餐』『モナ＝リザ』

【その他】

「神が決めた摂理」ではなく、「人間の目で見て、人間が考えて発見した科学」を重視

（11）（伊）… 『君主論』で近代政治学を確立

（12）（ポ）… 教会の天動説を否定して地動説を確立

（13）（独）… 活版印刷術を改良 → 宗教改革に影響

2. 大航海時代（15～17世紀）

【背景】

十字軍依頼、特にアジア（香辛料の産地）への関心が増大（マルコ＝ポーロの『世界の記述』など）

地球球体説、羅針盤の発明など科学の発展

【ポルトガルの海外進出】

15世紀前半（14）航海王子が西アフリカの探検を推進

1488（15）が喜望峰に到達

1498（16）がインド西岸のカリカットに到達
アフリカ東岸のマリンディでイブン＝マージドを水先案内人とする

【スペインの海外進出】

1492 ジェノバ出身の（17）がアメリカ大陸に到達
サンタ＝マリア号以下全4隻でサン＝サルバドル島に到達

1494（18）条約でブラジル以外の新大陸を領有

1521 アステカ帝国、1533 インカ帝国を征服

新大陸で大規模な（19）を展開＝サトウキビなどの大農園

伝染病と強制労働で（20）が減少、アフリカから（21）を輸入

3. 宗教改革

【定義】

キリスト教世界で発生した、カトリック（旧教）を批判する宗教運動

その結果、（22）＝新教が独立した勢力を形成

16～17世紀、ヨーロッパ各地で宗教戦争が発生

ユグノー戦争（仏）、ピューリタン革命（英）、三十年戦争（独）など

【ドイツの宗教改革】

1517（23）が『95か条の論題』を発表、宗教改革開始

ローマ教会やローマ教皇を批判、聖書至上主義（福音主義）を主張

1521～22 ルターは『新約聖書』のドイツ語訳を行う＝自説を普及

一部諸侯たちはルターを支持、ルター派は北ドイツや北欧に拡大

【スイスの宗教改革】

16世紀半（24）がジュネーヴで宗教改革を開始

神の栄光の絶対性を説き、勤労による蓄財を肯定 → 資本主義の発展に寄与

カルヴァン派は西欧各地へ拡大… フランス、オランダ、イギリスなど

【イギリスの宗教改革】

1534 国王（25）が国王至上法を制定、離婚を認めないローマ教会から離脱

1559 国王（26）が統一法を制定

カトリックとカルヴァン派を融合した、独自のイギリス国教会確立

【対抗宗教改革】

1534（27）の結成（パリ大学にて）、海外布教に注力

スペインの（28）と（29）による